

豊田市美術館 リニューアルオープン記念 コレクション展

TOYOTA MUNICIPAL MUSEUM OF ART REOPENING CELEBRATION A MUSEUM-WIDE COLLECTION EXHIBITION

WHO 世界を開くのは誰だ？ OPENS UP THE WORLD ?

Who opens up the world?



2019.6.1 | 土 | — 6.30 | 日 |

豊田市美術館 TOYOTA MUNICIPAL MUSEUM OF ART

開館時間 | 10:00-17:30(入場は17:00まで) 休館日 | 月曜日 主催 | 豊田市美術館

観覧料 | 300円(250円)、高校・大学生:200円(150円)、中学生以下無料 *()内は20名以上の団体料金

*障がい者手帳等をお持ちの方(介添者1名)、豊田市内在住又は在学の高校生、及び豊田市内在住の75才以上は無料(要証明)



Toyota
Municipal
Museum
of Art

豊田市美術館

Who opens up the world?

誰だ？

リニューアル記念イベント

「谷口吉生－美術館を語る」

日時 | 6月15日[土] 14:00-16:00

出演 | 谷口吉生(建築家)、聞き手 | 村田眞宏(豊田市美術館館長)

会場 | 講堂、定員:150名(抽選)、聴講無料

申込方法 | 往復はがき1通につき1名のご応募となります。往信用のはがきの裏面に郵便番号、住所、お名前、電話番号を記入し、返信用のはがきの宛名面を記入したうえで、豊田市美術館記念イベント係宛(〒471-0034 豊田市小坂本町8-5-1)までお送りください。5月7日[火]必着。5月31日[金]までに当落通知を発送します。



無料観覧日

6月1日[土]、2日[日]はリニューアルオープンを記念して、全館無料でご覧いただけます。

お庭でマルシェ

6月1日[土]、6月2日[日]

会場 | 庭園 *詳細は決まり次第、美術館HPでお知らせします。

学芸員によるギャラリートーク

6月22日[土]、6月29日[土]いずれも15:00より

*参加希望の方は、1階インフォメーションカウンター前にお集まりください。(要観覧券)

作品ガイドボランティアによるギャラリーツアー

木曜日を除く毎日14:00より/土・日曜日は11:00及び14:00より

*参加希望の方は、1階インフォメーションカウンター前にお集まりください。(要観覧券)

同時開催

修復記念特別公開「よみがえる織田信長像」

6月1日[土]－6月16日[日]

会場 | 豊田市美術館 展示室5

主催 | 豊田市教育委員会

豊田市の長興寺が所蔵する「重要文化財 紙本著色織田信長像」を特別公開。2016年度の修復に合わせて行った調査で明らかになった事実や、戦時中に行われた過去の修復に関わる新たな知見も紹介します。

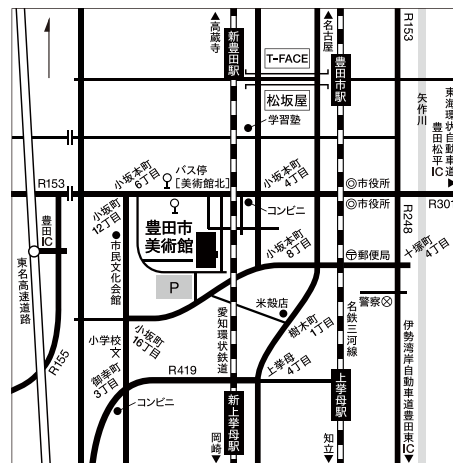
問合せ先 | 豊田市郷土資料館(文化財課) TEL: 0565-32-6561



次回開催

「クリムト展 ウィーンと日本1900」 7月23日[火]－10月14日[月・祝]

「あいちトリエンナーレ2019 情の時代」 8月1日[木]－10月14日[月・祝]



問合せ先

豊田市美術館

〒471-0034 愛知県豊田市小坂本町8丁目5番地1

Toyota Municipal Museum of Art

5-1 Kozakahonmachi 8-chome, Toyota,

Aichi 471-0034, JAPAN

TEL: 0565-34-6610(代表)

FAX: 0565-36-5103

<http://www.museum.toyota.aichi.jp>

[名古屋鉄道豊田市駅・愛知環状鉄道新豊田駅より] 徒歩15分
[名古屋鉄道上学母駅・愛知環状鉄道新上学母駅より] 徒歩20分
[名鉄バス近距離高速線(名古屋・豊田線)美術館北バス停より] 徒歩7分
[お車ご利用の場合] 東名高速道路豊田ICより約15分
東海環状自動車道豊田松平ICより約15分
伊勢湾岸自動車道豊田東ICより約20分



Toyota
Municipal
Museum
of Art
豊田市美術館

豊田市美術館 リニューアルオープン記念 コレクション展

TOYOTA MUNICIPAL MUSEUM OF ART REOPENING CELEBRATION A MUSEUM-WIDE COLLECTION EXHIBITION

WHO 世界を開くのは OPENS UP THE WORLD?

世界を開くのは誰だ？



2019.6.1 | 土 | — 6.30 | 日 |

豊田市美術館 TOYOTA MUNICIPAL MUSEUM OF ART

開館時間 | 10:00-17:30(入場は17:00まで) 休館日 | 月曜日 主催 | 豊田市美術館

観覧料 | 300円(250円)、高校・大学生:200円(150円)、中学生以下無料 *(*)内は20名以上の団体料金

*障がい者手帳等をお持ちの方(介添者1名)、豊田市内在住又は在学の高校生、及び豊田市内在住の75才以上は無料(要証明)

Who opens up the world?

表 | 加藤翼《Break it Before it's Broken》2015年 Photographing by Yukari Hirano, Courtesy of MUJIN-TO Production

1 | エゴン・シーレ《カール・グリュンヴァルトの肖像》1917年

2 | 金氏徹平《White Discharge(建物のように積みあげたもの #10)》2010年 ©KANEUJI Teppei, 2019

3 | 丸山直文《appear》2008年 ©Naofumi Maruyama

4 | イミ・クネーベル《規格I B1-B4》1994年 ©IMI KNOEBEL

5 | ピエロ・マンゾーニ《無色》1958 / 59年

6 | 速水御舟《果物》1920年

7 | 会田誠《あぜ道》1991年 ©AIDA Makoto, Courtesy Mizuma Art Gallery

8 | 塩田千春《不在との対話》2009年 ©SHIOTA Chiharu, 2019

9 | マリオ・メルツ《廃棄される新聞、自然、蝸牛の体のうちに、空間の力として継起する螺旋がある》1979年 ©SIAE, Roma & JASPAR, Tokyo, 2019 G1727

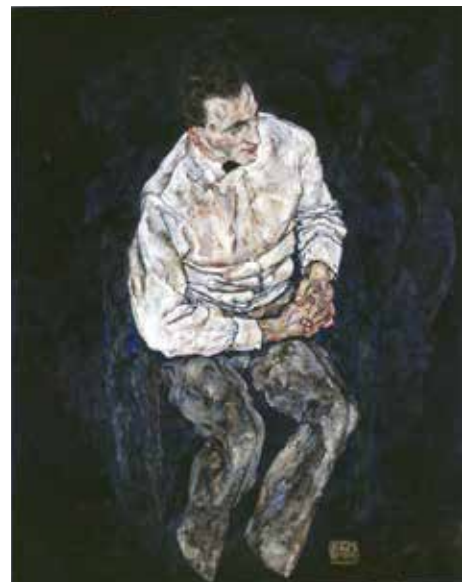
10 | ミヤギフシ《花の名前》2015年 ©MIYAGI Futoshi, 2019

WHO OPENS UP THE WORLD ?

豊田市美術館 リニューアルオープン記念 コレクション展

TOYOTA MUNICIPAL MUSEUM OF ART REOPENING CELEBRATION A MUSEUM-WIDE COLLECTION EXHIBITION

世界を開くのは誰だ？



1



2



3



4



5



6



7



8



9



10

改修工事のため休館していた豊田市美術館は、2019年6月1日、新たにスタートします。このリニューアルオープンを記念して、当館コレクションで構成する大規模な展覧会「世界を開くのは誰だ？」を開催します。

私たちの世界を可能性に満ちた方向へと開いていくこと。これは美術が追い求めてきた大きなテーマです。私たちが知らないこと、あるいは身近にありながら気づかないものなどを、さまざまな角度から照らし出し、人々を取り巻く世界を新たなフィールドへと拡張してくれるのが、美術の重要な力なのです。それはまた、自分の内にある何かを呼び覚まし、解放して、停滞した状況を前進させるきっかけを与えてくれるでしょう。

忘れてはいけないのは、美術が世界を開くには、アーティストの力のみでは困難であるということです。世界を開く糸口は、アーティストがつくりだす作品と鑑賞者である皆さんとが積極的に交流するなかで、生じるものなのです。まずは会場で、作品とじっくり向き合ってみてください。そして「これは、なんだろう？」と思いをめぐらせ対話を重ねることで、はじめて世界は開かれていくのです。

本展は「世界を開く」をキーワードに、この大きな課題に挑む表現の数々を4つのテーマに分けて紹介します。美術館活動の源であるコレクションの中から、選りすぐりの名品をはじめ、新収蔵品もあわせた約100点を全館にて展示します。

After a period of closure for renovations, the Toyota Municipal Museum of Art will reopen on June 1st, 2019. To celebrate this reopening, works from the museum's collection will form the large-scale exhibition "Who opens up the world?"

Opening up our world into directions filled with possibilities—this has been one of the major themes pursued by the arts. Art has the critical power of showing us things we did not know, shining a different light on familiar things that went unnoticed, and expanding our lives into new areas beyond the world which we have wrapped ourselves in. This may then reawaken something inside us and release it, granting the opportunity to move forward beyond our stagnated circumstances. We must not forget that even though art is that which opens up our world, this would be difficult if it were achieved through the power of artists alone. What initiates the process of opening up the world is that which results from the active interaction between the works made by artists and all of us, the viewers. In the exhibition space, first try to face the works directly. Then, through having numerous conversations that ask, "What is this?" the world will begin to open.

With the key phrase for this exhibition being "open the world," we have divided the show into four themes according to the myriad ways of addressing such a large subject. Including a special selection from among our collection—the basis of all the museum's activities—and new acquisitions, around 100 works from across the museum will be on display.